

見守りとうど衆研修会

子どもの安全を守るために地域は何ができるだろうか
そして子どもたちは何ができるだろうか



地区研修会(常盤地区活性化センター)

平成17年度の見守りとうど衆地区研修会が、2月17日、24日、3月10日の3回開催されました。
この研修会は、市内全域に10人に1人配置されている「見守りとうど衆」の役割を知っていただくことや、そこに住んでいる者同士が日常生活の中で、支援が必要な人を見守るネットワークづくりを目的に実施しています。
昨年度まで見守りとうど衆は、高齢者の見守りを中心に活動を進めてきましたが、最近の児童に対する事件や虐待事例等が各地で起こっていることから、子どもの見守りも活動に加えていこうと「ネットワークで子どもの見守り」をテーマに設定しました。
地区研修会は、シンポジストとして、民生児童委員、子ども会育成会長、飯山市子ども課職員、飯山警察署

職員、飯山学園長、福祉教育推進委員を会場ごとにお迎えし、常盤地区、外様地区、秋津地区の活性化センターを会場に開催されました。
中学生や小学生の下校時に雪片付けをし、「ごころうさん」と声をかけ続けているうちに「ご苦労さん、おじさんだ」と認められるようになった事例を通して、「子どもたちは社会情勢から知らない人に挨拶ができない状況になっているが、声をかけ続けていくことが大切」という意見や、「不審者と間違われぬ声のかかけ方は、まず自分の家の玄関先から子どもたちに声をかけよう」という意見が出されました。
地域の大人が子どもたちに声をかけ続けていくことで、不審者にスキを与えないことにつながります。親切にしたばかりに、不審者

と間違われた事例もあることから、子どもたちに大人を知ってもらうために地域の行事に子ども達も参加できる仕組みづくりや親も地域と触れ合っていることが必要であること、また子どもが自分を守る力をつけることも必要であることが話し合われました。
「ウォーキング時に子どもの見守りをします」
「ごみ出しを登校時間に合わせましょう」と会場からも提案されました。
また、「子どもたちが防犯ベルを持っているというがどんな音がするのか、どのくらいの範囲まで聞こえるかを大人が知らない。もつと関心を持つとう」
「子どもと信頼関係を築くには、まず大人が心を開こう」
「学校が主体となってネットワークづくりが始まっている地域もある。通学路の安

全マップづくりなど始めたらどうだろう」
熱心な話し合いが行われました。
また全体研修会では、「ながの子どもを虐待から守る会」の理事で長野児童相談所の清水ケースワーカーから「地域における虐待防止活動を考える」というテーマで、講演をいただきました。(詳細は次号)



コーディネーター
岸田民協会長

子どもたち自身が暴力から自分を守るためのCAPの講習は市内の小学校で進められています。

暴力から自分を守る CAPの講習実施状況

常盤小学校	11月1日	2.4.6年生			
飯山小学校	12月9日	4年2組	5年2組	5年1組	5年3組
	12月22日	1年1組	4年3組	5年1組	5年3組
	1月11日	4年1組	2年2組		
	1月13日	1年3組	2年1組	3年1組	6年1組
	1月16日	3年3組			
	1月17日	1年2組	2年3組	3年2組	6年2組
泉台小学校	2月3日	全校児童			
東小学校	1月27日・30日	全校児童			

CAPの講習とは・・・
子どもたちが役割劇に加わりながら、被害に遭いそうになった時の防止策について、自ら考え、意見を述べる参加型の学習です。

歳末助け合い運動

昨年12月1日から、飯山市赤十字奉仕団飯山分団のチャリティバザー、飯山仏教和合会の托鉢などが行われ、浄財が歳末助け合い運動に寄付されました。

この寄付金を元にして年末に歳末激励事業が行われ、民生委員さんのご協力により介護者の方など該当する世帯へ激励・慰労金が手渡されました。

実施内容は下表のとおりです。

平成17年度 歳末激励事業実施結果

激励対象区分	世帯人員	1人あたり激励金額	激励金合計
重度要介護高齢者介護者	186人	5,000円	930,000円
重度心身障害者介護者	76人	5,000円	380,000円
交通災害遺児世帯	6人	5,000円	30,000円
準要保護世帯	357世帯 708人	世帯員数	
		1人	5,000円
		2人	6,000円
		3人	7,000円
		4人	8,000円
		5人	9,000円
		6人	10,000円
		7人	11,000円
		8人	12,000円
9人	13,000円		
計			2,132,000円
			3,472,000円

皆さんの温かなお気持ち、
ありがとうございました



社協のひな祭り

